## 保険医協会 西宫

## 第 34 回支部総会記念市民 公開企画

# 子どもを放射線から守る施策こそ一 国益

小出裕章氏が市民ら40

務め、法貴憲支部原 が開会あいさつ、 が開会あいさつ、 が開会あいさつ、 が開会あいさつ、 (西宮市・関して京 宮市・広川内科クリニック)が司会を 氏の講演が行われ、医療関係者・市 て京都大学原子炉実験所助教の小出 もたちの未来と大人たちの責任」と もたちの未来と大人たちの責任」と もにの開企画では「小出裕章氏が語る 館で第34回支部総会を開催。総会記 館で第3年では「小出裕章氏が語る 館で第3年では「小出裕章氏が語る 会あいさつ、大、法貴憲支部長 「クリニッ )が謝辞を述べた。つ、大森公一先生 岩下敬正先生 (森公一先生(西宮市·(西宮市·法貴皮膚科) の議長のもと、 *t*=

明先生(西宮市・皆本医院)のあいは原小児科・内科医院)のあいた。 先生が活動報告・方針の提案を行い のあいさつのあと、 った。 (芦屋市 からいただる

つ頃であったか、 旧帝国大学 V 子名誉教授・地 ・CMにて某科

兵庫保険医新聞

は安全なんだと受け止めて で 受ける いから発

「少ないから安全だ」とするのか、「少ないから安全だ」とするのか、「 の発 コ メ コ この事故以降、 9 『危険な話』等を読み、 6 は確かに事実であるが エル リ原発事 上記T . 力 の づ が、それを上記T先生上記T先生 あか判放そ り さ 断射れ 方れす線

は、長いているのか誰もう、を震えながら感じていを震えながら感じていた私には、次に気になる。 でいた私には、次に何が起次々と起こる事象は、広瀬の被害もさることながら、一方太平洋沖地震が発生しま 書 がい

次に何が起こっている次に何が起こっている次に何が起こっている本にをながら、福島第一ことながら、福島第一 津 3 対して、その説がいる。東北地では、大きのでは、たらのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たらのでは、た

子どもたちを放射線から守る必要性に



会場には定員いつぱいの400人の医療関係者・市民が参加し、小出先生の講演に聞き入った

た悲劇から、これ以上 に表明に によのに に分りやすく・ され、原子力への期待 され、原子力への期待 され、原子力への期待 され、原子力への期待 ないものであると力部 ないものであると力部 ないものではなく、 に私自身を許せない」 に包まれました。 塚惑受もからのであると力説されましのであると力説さればなにないがあると力説されまいたに分りやすく・丁寧に明に分りやすく・丁寧に明した。 ソ、 青 い 」、 計せない」、 貝の会場は暖かい拍手い」という言葉で講演、「守らないなら、利高い子どもたちを守ったりを守った。そしかがらないなら、利税されました。そしかがある。 そ来説現 手演私っしの明状

きました。とました。 で学問的な か子 力に対ける 確信で、諸先

ら守る政 公表し、 国や東 さ注ぐのに国や東電 保険医協会には本当に感謝の貴重で有益な時間を作っ ただきた 気策こそ 民では、 そが特な風 、 事実  $\mathcal{O}$ ど 国益で を …であかっ.)の T たし 射や払 線か拭 と線か拭

えて

- としつ 断言されたことに、心からの拍手発言を控える気はさらさらない」 感じさせてい 本日参加できたことを幸せに思 あるが無力ではな ただける機会となり 人として、 「今後も をもっと強く 強く
- を忘れがちになる 真剣に考えていか あしました。 日々自分 の生活で と子ども カュ 本当に到 なけれ 私した ばの 原子 未来の 身が も頭 いた責をため任た 決にをた害
- で苦しんでいる出先生の怒り に何とかしなけ ・分かりやす 原子 力の恐ろしさについ る方々、 く大変ためになり が胸に響 ればとも思いまし 子どもたち のみた た W な めな小
- 値、図を用いて大変分かりやすく説に、図を用いて大変分かりやすく説に、いったい何なのか、ということも理解できました。今の発が今の日本、いや世界に不必要なていただけてよかったです。そして 圧されることの とに心より感謝申 ロミナーを何! 田先生の講演<sup>4</sup> 会は そして、具体的な \$ 、のなも 、朔, 我 えにの原し数

ることこそ、 を起こさ 兵庫県保険医協会

発行

兵庫県保険医協会

N o. 321

2014 - 8 - 25

〒 662

-0832

西宮 芦屋支部

西宮市甲風園一—一—五

法貴皮膚科内 〇七八(三九三)





司会を務める広川先生(左)、挨拶する法貴支部長(中) と、謝辞を述べる大森先生(右)









第 13

回胸部×

P 読 影会

症

の特徴

と診断基準を詳

### 英語で診療 Medical English #

## まるでミステリーの謎解き 英語で

せ る 7 英 月 語 18 Chickenpox, Measles, #41を開催。 参加者からい Conroy ビュー 水痘、 で診療・西・ 医師・薬剤師ら9人が参加し 「Vaccinations, Rashes 氏が講師、 麻疹 ハイツクリニック) ただいた感想文を掲載 宮 Medical and more (予防接 他)」をテ 療会 坂尾福光先生 館で「話 English ーマに、 ço

Role playing で医療英語の英会話はなか ことが理解できたのはうれ 講義。レベルの高さに驚いてしまいま セミナーに心惹かれて参加してみると、 なか思うように言葉がでません。 くださるので、何とかおっしゃ サムな英国の Conroy 先生による英語 きれいな発音で分かりやすくお話しして 薬局に案内が来ていた Medical すぐに現場で しかっ っている でも実際 たです。

とすることができると思います。

をお

や休みさせていただいでロの午後2時からなので

て参

で、

0

ても

3か月に一回ですが、

毎

月あ 加

かなくて

みにしてい

かり予習していけばほんとに自分ののです。テキストはCD付ですから、

テキストはCD付ですから、

のっも

でもや

り話

せるように

なり

た

1111

 $\mathcal{O}$ 

の患者さんを目のいです。2回目でいです。2回目でならないことがみれば病気のことも

ことが呑み込めて

きまし

で洩らさず述べなけ

沙述べなけれず診断のため

目でや

0

のことも英語も勉強すること

ているだけでも楽し

でやっ

て

みる

ていることに外口

 $\mathcal{O}$ 

謎解きです

診断を下





RolePlaying を行う坂尾先生

世話

解説 療会館

西宮

で世話人会を開催。5人が参加・芦屋支部は7月25日に西宮医

会だ

【報告】 ①第31回漢方研究会 6

兵庫保険医新聞

月 26 日、

西宮渡辺心臓・血管センタ

「日常診療での非結核性抗酸菌症」を

ことなどについて説明した。

塩素殺菌にも抵抗が

あ

M 症 は、

痰などで初期

マに第13回胸部X-P読影会を開催。

が司会を務め、

医 師 7

人が参加

原先生はまず非結核抗酸菌

Ñ T

 $\overset{M}{\smile}$ 

多い肺MAC症についても、について詳しく説明。NTM

NTM症の 記結

・気管

中

を行うことができるとして、

その診断基準

準の2つを組み合わせることによ

臨床的な基準と細菌

学的 り診

断な

徴について解説。

水滴の気道内吸入

から感染して主に肺

菌を含むほこり

が講師、橋野盛彦先生(西宮市・橋野医院) 原秀樹先生(尼崎市・はら内科クリニック)

> ②英語で診療 Medicai 18 English # 41

③第34回支部総会記念市民公開講演 7 19 会

【予定・企画】

20 \$ 21 ①保険請求事 務講習 会 へ 医 科 9

② 阪 神・ 淡 路 大 震 災 20 年 の 集 LJ

(2015.1.17)

③但馬支部との交流企

④第25回日常診療ガイド

ライ

①第44回保団連夏季セミナ 保団連行事】 7 5

数の

極 V

めて稀な疾患ではなく、

ゲン画像も紹介され、

N T 般の病院、

Μ

症

クリニックで見かける疾患として認識され

るようになって

いる」とまとめた。

撮影

講演後には、

た胸部レント

のような診断を行うべきかの検討会のような診断を行うべきかの検討会部レントゲン画像を持ち寄り、画像後には、参加者が日々の診察て推覧になっ。」

会像

解説

講演

の中では、

具体的な症例に基づく多

④過敏性肺炎型、

ンからその特徴や注意点などに

③金身播種型の5つの

支拡張型、②空洞形成型、③孤立性肺結節型、

②第29回医療研究フ ر 6 ) オ ラム 9 13

③地域医療を考える懇談会 4 (但馬支部

26 第3回日常診由 療 経 験交流 会 10

日です。 **※**世話 画案などを 人会の日 支部につ 程は毎月第 せ 11 くださ てのご意見 4 金 や曜



多数のNTM症患者のレントゲン画像を参加者全員で検討し合った

からどの を実施。

見落としを防ぐ

ため

はどう

別な意見交 りればよい か、疾患

自らの経験を交えて真剣

換がなさ とても参考になっ れた。

からは、「非常に実践的な勉強会で、 た」などの感想が寄せら